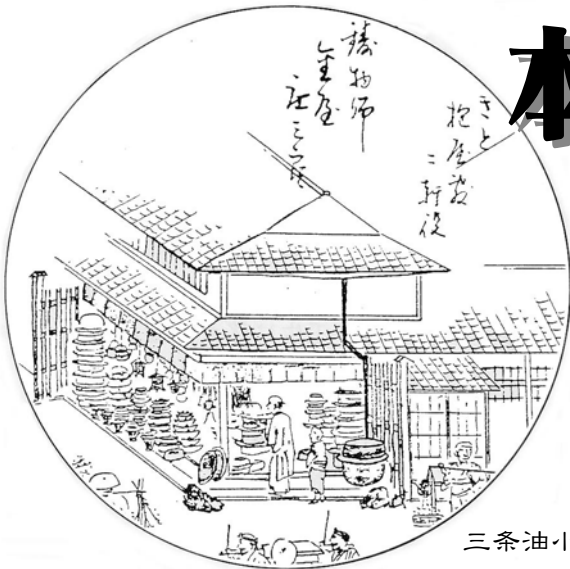


本能まちづくりニュース

第26号 平成17年2月25日発行

本能まちづくり委員会
委員長 西嶋直和

E-mail: post@honnoh.net
URL: <http://www.honnoh.net>



三条油小路町絵図より鑄物師釜屋庄三郎方

本能校の面影残る新施設

元本能小学校が、京都で最初の鉄筋コンクリート造の校舎として大正13年に建設されて以来81年、今年の夏には、京都市の特別養護老人ホーム（北棟）及び堀川高校の分校（南棟）として、その優雅な姿を現し、その中に私達本能学区民のつどいの場・本能自治会館も組込まれて、新しい施設として発足することになります。

本能自治会館には7.7m×8.6mの会議室、15帖の和室、通り庭形式の厨房、消防分団研修室、同資材庫、があり、その2階部分には堀川高校との共用の10.6m×8.6mの会議室があります。更に南北両棟との間の辻子の中程に「本能ギャラリー」約30㎡があり、ここでは地域での染の逸品・名品の展示会を催す等、本能だからこそ出来る「本能ブランド」或は「京都ブランド」を発信するセン

ターとして活して行こうという構想です。

油小路通側正面には本能自治会館及び堀川高校の諸室が面しており、ほぼ左右対象の形をした縦格子が特徴の建物です。中央辻子出入口の位置には、元本能小学校の最も特徴的な玄関部分がレプリカで復元され、これが「古いものを大事にすることで、環境を守って行こうとする象徴になれば」と願っています。桜の古木が一本残りました。後は百日紅などの新しい植栽となります。

蛸薬師通側は、本施設の中心的建物である特別養護老人ホーム（以下「特養」と云う）の主要出入口が面しており、人・車の通行・進入のための機能的なスペースでもあります。建物外面は中央部分で前面道路から10m近く後退しており、全体に上部がセットバックされ、凹凸の多い彫りの深い建物になっています。敷地内で蛸薬師通沿いに、道幅は狭いが「人の歩く道」が設けられ、「歩いて暮らせるまち」に大変貢献しています。

小川通側は北半分が蛸薬師通側同様セットバックの効いた「特養」、南半分は運動場で、高さ7mのネットフェンスが連なります。いずれ嘗てのような運動場としての賑わいが戻って来ることでしょう。なお、道路沿いには高さ1.8mの土壁風コンクリート塀を設けることにより町並景観が形成され、これが蛸薬師通沿いにも延長されています。



高齢者福祉施設（北棟）及び堀川高校の分校（南棟）の完成図

「本能ブランド」新作着物

昨春の「伝統産業の日」には、昔の玩具や季節の風物をモチーフに手描友禅訪問着「四季折々」を試作・展示しました。しかし、素人のお客さんには、自分が買った白生地が本能学区の中でどんな着物に出来上がるのか、1着の例だけではイメージが湧きにくいのではないかと、という配慮から、もっと多くのサンプルがあったほうが良い、そして、本能という地域から、「本能ブランド」としての新しい着物制作・販売形態を打ち出してはどうか、という考えが生まれました。しかしボランティアのまちづくり委員会には多くの制作資金はありません。折しも16年7月、京都府で和装・伝統産業チャレンジ支援事業補助金交付の募集があり、「本能ブランド制作開発事業」で応募しま

したところ、8月に採択され、助成が受けられることになりました。

そこで、本能の着物産業に関わる職人さん達の技と、横の連携を生かして、白生地からどのようなものが創れるか、制作に入り、このたび「本能ブランド」着物の試作品15点が出来上がりました。

「おべべ・ee-mon・ほんまもん」

本能ブランド名は「おべべ・ee-mon・ほんまもん」。ロゴシールをデザインして、貼ります。共通テーマは「京、散策」。気軽にまち歩きに着られる、小売価格5万円から10万円前後の着物と帯です。試作品の制作者と個別テーマは下表の通りです。

種類	テーマ	制作工房	
京友禅帯	『てふてふ』	松本金彩	蝶の柄、金箔・挿し友禅、刺繍加工。
京縫紋	『あそび心』	村田縫紋	両胸に飾り紋。従来の背紋とは違った新しいデザインです。
京縫付下げ	『ひかえめ』	片岡刺繍	かわいい円・三角・四角・コマの刺繍。
染着尺	『彩夢』	びん工房	夜空をイメージした縦ぼかし染。
夏男着物	『断層』	園染工	味のある紡ぎ。手織りならではの織りムラが地層を思わせます。
京小紋	『更紗』	中東染工	引き染・型染を重ねた重厚な色合い。
ぼかし着尺	『さゆり』	勝山染工	吉永小百合が着ていた着物の色を基調にした横ぼかし染。
金彩付下げ	『薫』	荒木金彩	プラチナと金、源氏香の囀。
絞り付下げ	『淀君』	今井絞り	時代祭、淀君の衣装柄。梅菱絞り。
訪問着	『華』	福本糊置	本能の桜と清らかな水。
京友禅着尺	『童心』	上木友禅	蝶やてんとう虫を描く本格的京友禅。
金泥素描帯	『石堀小路』	創作高岡	市松地紋を生かした素描加工。
筆素描付下げ	『夜の梅』	創作高岡	黒地に金の梅を素描。昨秋「おいでやす染のまち」で実演制作されました。

他にも数点あります。1月26日の「本もの推進会議」に持ち寄って、出来栄えが検討されました。3月20日伝統産業の日「本ものに出会える日」に、会場の四条京町家で試作品を披露します。

信頼される産地直売システムを

催事販売のように、原価の10倍以上にも流通業者の利益が上乗せされた高価格で、着物が売られていることは、消費者の着物離れを一層促すこととなります。また、実際に制作している職人さんが得る加工代から着物の市場価格を見ると想像以上の高額であり、本ものの作り手や、真面目に小売をしている人々の仕事への意欲をそぐものです。このような消費者・生産者双方とも納得できない現在の流通形態に一石を投じ、着る人と

制作者お互いの顔が見え、信頼と責任の関係を結んだ上で、産地直売の着物を創り出したい、それが「本能ブランド」開発の意味です。

扱う着物の種類は、振袖や留袖のような、フォーマルで手間を掛ければ上限のない高級品ではなく、気軽に着られる街着です。そして「手抜き」によるのではなく、各工房制作工程での工夫と無駄の省略・危険負担のない受注生産であること、によって、現在の市場価格より安価に、1着5万円～10万円前後のお手頃価格で提供していきます。

今後は、着物を浴衣の延長で気軽に着られるように、デザイン・素材・加工方法や着付法を考案し、また、地元だけではなく、遠方の着物愛好者も利用できるようなシステムを開発していきたいと考えています。N村

探訪 「京町家再生セミナー」を受講して



セミナーでの大井氏

1月23日、景観・まちづくり大学講座「京町家再生セミナー」の第4回「空き町家をまちづくりの拠点に－だれが町をまもるんや－」がひと・まち交流館 京都で開かれました。講師は大井市郎氏（越後突抜町）と小丸和恵氏（「子どもと川とまちのフォーラム」京都事務局長）、コーディネーターは梶山秀一郎氏（京町家作事組理事長）が務めました。

大井氏と小丸氏とはいわゆる「大家と店子」の関係、また大井氏と梶山氏は「施工主と設計・施工者」の関係です。大井氏所有の町家に小丸氏が事務局長をしている「子どもと川とまちのフォーラム」が入ることから「おつきあい」は始まりました。

2003年の秋、その町家を改修することになりました。その際、京町家の保全・改修に取り組んでいる「京町家作事組」の梶山氏は、改修前と改修中に見学会を10回近く開き、地域住民や町家再生に関心のある人、大学の工学部研究室など

に参加してもらいました。一般的に町家改修後の公開はよく見られますが、改修以前や改修途中の見学会は珍しいということです。同年11月15、16日に行われた「三和土（たたき）」と「弁柄（べんがら）塗り」の施工体験会には「子どもと川とまちのフォーラム」の子どもたちも参加し、また「おいでやす染のまち本能・公開工房ツアー」の参加者も途中で見学できました。「三和土」は、山砂利に石灰とにがり混ぜ、それを文字通り叩いて、叩いて、固める作業です。始めの量の半分になるくらいまで叩きます。さらに表面をつるつるに仕上げます。「弁柄塗り」は、との粉と紅殻（赤）を練り、松炭の粉（黒）を入れてどろっとしたら、水または植物油で薄め、それを刷毛で格子に塗ります。「三和土」や「弁柄塗り」といった昔ながらの伝統工法で、町家は見事に甦りました。

単に町家を直すということではなく、様々な人たちを巻き込みながらの改修という過程を経て、とても思い入れのある町家となり、再び「子どもと川とまちのフォーラム」の子どもたちが訪れています。また町内の会合の場としても提供されていて、更に「空き町家の活用」として、より広く利用して頂きたいと思っていますとのことでした。

「住んでいる人が町並みを守り、まちづくりをしていかなければならないという意識をもつことが大切。昔から京の町は、町衆（まちしゅう）の心意気で成り立ってきたのです」という大井氏のお話でした。（Y.N.）

学区情報

恒例 成人式挙行



山田中京区長の祝辞を受ける新成人（上）

八坂神社常盤新殿で記念写真（右）



平成17年1月10日、本能自治連合会主催の成人式を仮設会議場で行いました。町内会を通じてわかった学区内の新成人は14名。そのうち8名と関係者32名が出席しました。学校統合の歩みからいうと、本能小学校・高倉西小学校・高倉小学校を2年間ずつ進んだ学年に該当します。式後は八坂神社に向かい、本殿で成人祭に参列。常盤新殿にて記念撮影・会食し、和やかなひとときを過ごしました。自治連合会では成人式への出欠にかかわらず、新成人にささやかな記念品をさしあげています。今後とも、ご町内に成人される若人がおられましたら、お知らせ下さい。皆で祝福したいと思っています。

自治連合会会長 岡山 悟

総合防災訓練のおしらせ

日時：3月21日 午前9：30～11：30

場所：本能公園

主催：本能自主防災会・中京消防署 協力：本能消防分団

◆◆◆本能まちづくりニュースのカラー版は、ホームページをご覧ください。http://www.honnoh.net ◆◆◆◆

伝統産業の日

本ものに出会える日

平成17年3月20日午前11時～午後5時

受付場所 四条京町家

ボランティア募集のお願い

“本ものに出会える日”での
ボランティアスタッフを募集しています

日時：平成17年3月20日午前11時～午後5時

詳しくは回覧で

連絡先 杉下（三条油小路町）

TEL 221-0613

本能まちづくり委員会

編集後記

◎跡地施設の建設中、情報の公開に欠ける面がありました。情報は出来るだけ公開されてこそ、皆の参加意識も高まり、町を良くして行く方向に進むものと思います。「本能まちづくりニュース」では、そうありたいと願っています。（O井）

◎「京町家再生セミナー」に参加し、「地域の力」のハードもソフトも大切にする習慣が身についていた「先人の知恵」に目からうろこです。（Y.N.）

◎「本ものに出会える日」に是非お越しください。N村

◎安全・安心について考えたとき、作品に携わった人たちの顔が見える「本能ブランド」のすばらしさを再認識しました。MO